

9月生産・出荷 3分類すべてマイナス

同時に発表された9月の生産・出荷概況でも、3分類の生産・出荷はいずれも前年同月比でマイナスとなった。

板は、「自動車」が増加に転じたが、半導体製造装置向け厚板を含む「その他」が大幅に減少した(-21.1%)。

押出は、最大用途の「建設」が減少したため、「自動車」は増加に転じたものの、全体ではマイナスとなった。はくは、コンデンサ、リチウムイオン電池など「電気機械器具」の減少が続いている。


<https://nikkankinzoku.co.jp/>
PW: nikkin202211

◎2022年9月 生産および出荷(前年同月比、▲はマイナス)

板類	生産(トン)	前年同月比(%)	コメント	板類	出荷(トン)	前年同月比(%)	コメント
板類	93,601	▲5.0	9ヶ月連続でマイナス	板類	90,768	▲4.6	6ヶ月連続でマイナス
押出類	56,372	▲10.0	9ヶ月連続でマイナス	押出類	57,313	▲9.4	7ヶ月連続でマイナス
板押計	149,973	▲7.0	6ヶ月連続でマイナス	板押計	148,081	▲6.5	7ヶ月連続でマイナス
はく	9,241	▲20.2	7ヶ月連続でマイナス	はく	9,229	▲16.5	7ヶ月連続でマイナス

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



10月のアルミ概況および11月の見通し(2)

予想レンジ

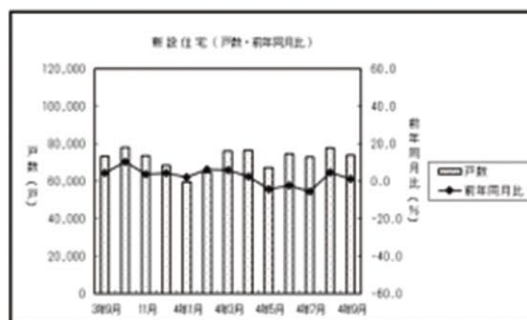
LME 現物後場買い 2,100-2,300ドル ↑

スクラップ 0~+5円 (前月最終価格より) ●

為替 145円~150円 円安

(1か月間TTM)

新設住宅(戸数・前年同月比)



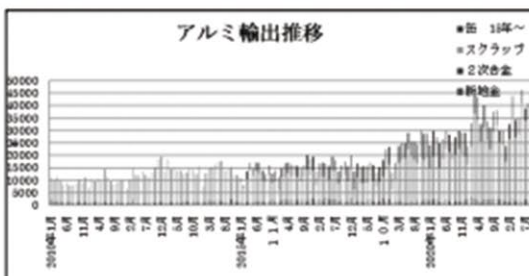
◆貿易指標

【輸出】

新地金は、-38.4%の93t。二次合金は、-24.6%の1,786t。スクラップは、+34.3%の3万6,350t。アルミ缶-9.5%の7,054t。

	7月	8月	9月
新地金	180t	138t	93t
前年比	+11%	+3.6%	-38.4%
二次合金	2108t	1864t	1786t
前年比	-5.6%	-19.8%	-24.6%
スクラップ	3万1683t	3万2559t	3万6350t
前年比	+32.4%	+62.8%	+34.3%
缶	4963t	6335t	7054t
前年比	-32.4%	-7.6%	-9.5%

輸出推移



【輸入】

新地金は、+0.8%の10万4,846t。二次合金は、+0.9%の8万5,765t。スクラップは、+49.4%の698t。合金スクラップは-11.9%の5,013t。

	7月	8月	9月
新地金	11万1172t	11万4496t	10万4846t
前年比	-15.1%	+7.18%	+0.8%
二次合金	7万306t	9万1766t	8万5765t
前年比	-8.3%	-8%	+0.9%
スクラップ	431t	597t	698t
前年比	+41.8%	+47%	+49.4%
合金スクラップ	5545t	5567t	5013t
前年比	+14.1%	-14%	-11.9%

(次号へつづく)